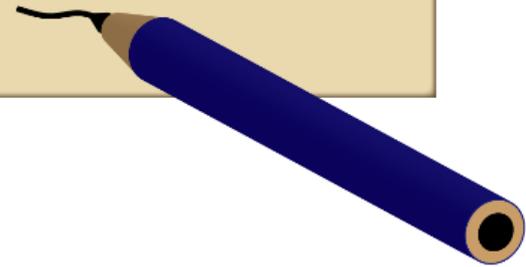


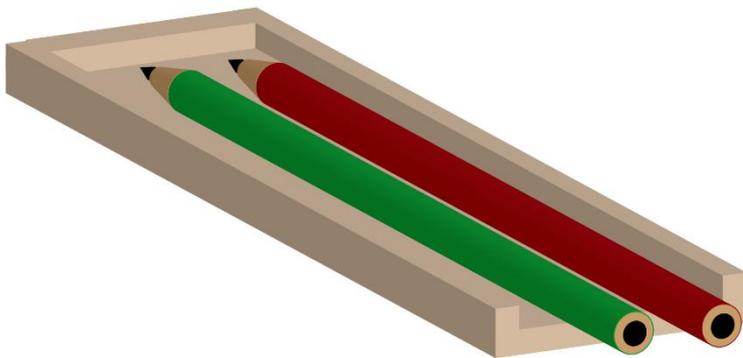
ラーニングアドバイザーがおすすめる・・・

民法



民法とは、わたしたち、市「民」のことについて定められた「法」律ということで、「住む家を借りる」や「結婚する」、「モノを買う」という、私たちの普段の生活について定められた法律、ということができます。

民法は ①総則(民法全体の共通ルール)、②物権(物に対する権利)、③債権(人に対する権利)、④親族(家族関係のルール)、⑤相続(人が亡くなった場合の遺産の取扱いなどのルール)、の5つの編に分けて整理されています。



発行：2017.11

和歌山大学図書館

作成：ラーニング・アドバイザー
(経済学研究科)

1. イントロダクション

1-1. 学習にあたってのポイント

民法は学生生活のさまざまな場面で関係する法律です。

例えば通学のためにミニバイクを買ったり(売買契約)、下宿先を借りたり(賃貸借契約)、学生結婚をしたり(婚姻)など日常生活での民法を意識してみるといいでしょう。学習を始めるにあたって基本的な知識を得るためにも伊藤真著『マンガで分かる民法入門』(ナツメ社)などを読んでおくといいかもしれません。

1-2. 一般向けに書かれた資料・読み物

◆ 『面白いほどよくわかる民法のすべて』 山瀬和彦(日本文芸社)

(配架場所：2F・開架図書 請求記号：324||YK 書誌 ID：1000434518)

法学書というよりは雑学本に近い。

某テレビ番組『行●のできる法律相談所』テイストのような書籍といえれば分かりやすいかもしれない。ドラマのような詐欺事例やサスペンスで見るとような相続争いなど、これから民法を学習する学生でなくとも、読んでいて面白い本。

◆ 『18歳からはじめる民法』 潮見佳男(法律文化社)

(配架場所：2F・開架図書 請求記号：324||SY 書誌 ID：1000434806)

「18歳から」シリーズの民法編。18歳の大学生が日常生活において経験しうるトラブルを題材に、該当する法律関係・制度をわかりやすく解説するテキスト。

身近に感じる事が出来る事例が多く、すぐに役立つ知識も掲載されている。

◆ 『民法判例入門』 三好登(成文堂)

(配架場所：2F・開架図書 請求記号 324.09||MN 書誌 ID：書誌 ID：1000250943)

少々古いが、民法の重要判例が解説とともに網羅的に記載されている。

関連する基本的な用語解説もあり、重要判例について具体例を挙げて解説しているために分かりやすく、初学者におすすめ。

2. 学習用資料

2-1.手元にあると便利な事典・ハンドブック

- ◆『法律学小事典〔第5版〕』高橋和之ほか（有斐閣）

（配架場所：2F・参考図書 2 請求記号：320.33||TK 書誌ID：1000434529）

法律文言はいわば外国語のようなものといっても過言ではなく、法学でしか使わない難解な用語は数多い。法学書には用語説明までは載っていない場合があるため、手元に置いてあれば学習がスムーズに進む。

- ◆『別冊ジュリスト 民法判例百選』シリーズ I,II,III/塩見佳男ほか（有斐閣）

（配架場所：1F 開架雑誌『別冊ジュリスト』223～225号（2015）書誌ID：3000003545）

各論、総論ごとに代表的な判例を厳選し、研究者等の解説も記載されている。学習すべき事例が掲載されており、学習用資料としては最適である。当パスファインダーに掲載する書籍の中で最も優先的に入手すべきもの。

2-2.代表的な教科書

- ◆『民法〔新版〕』我妻栄（勁草書房）

（配架場所：2F・書庫旧中央館分類和書 請求記号：320||160 書誌ID：1000182607）

民法の全てが書かれており、学生から研究者、実務家まで広く読まれている。ただ、全てを網羅しているため分量が多く、日頃の学習には向かないかもしれない。辞書的に扱うのがベスト。

- ◆『民法』シリーズ（全4冊）『1.総則・物件総論』内田貴（東京大学出版）

（配架場所：2F・開架図書 請求記号 324||UT||1 書誌ID：1000103555）

内田民法とも呼ばれ、基本書としては最適な本。それぞれの分野ごとに章立てされており、とても読みやすい。和歌山大学図書館には第3巻を除く、全シリーズがあるが、総則である第1巻がおすすめ。

- ◆『債権総論』潮見佳男（信山社出版）

（配架場所：2F・開架図書 請求記号 324.4||SY 書誌ID：1000267601）

債権に関する基本的な判例・通説の説明が一通り記述されており、入門的な基本書では物足りない方の学習に向いているテキスト。

◆『物権』佐久間毅（有斐閣）

（配架場所：2F・開架図書請求記号 324||ST||2 書誌 ID：1000320245）

物権に関して、分かりやすく丁寧に記述しており、網羅的に知識を得ることが出来る。

2-3 最新情報が確認できる資料：主要雑誌、Web サイトページ

◆裁判所/裁判例情報

(http://www.courts.go.jp/app/hanrei_jp/search1)

主要裁判例のほとんどを検索することが出来る。

判決日やどの級審か分からない場合であっても、関連ワードから検索可能。



◆総務省 e-gov (<http://law.e-gov.go.jp/cgi-bin/idxsearch.cgi>)

法令データベースのひとつ。現行法のほぼ全てを網羅しており、改正の経緯等も記載されている。

現行法だけでなく、過去の法令や審議過程等の検索も可能。



◆Westlawjapan/ウエスト・ロー・ジャパン

(<https://go.westlawjapan.com/wljp/app/signon/trauth?sp=wakayamajp-2>)

代表的な法律情報データベースのひとつ。通常は有料のサービスであるが、本学は契約しているため、学生は学内ネットワークから無料で利用することが可能。
(大学図書館ウェブページよりリンクあり)



◆『法律時報別冊:私法判例リマークス』日本評論社

（配架場所:1F・開架雑誌 所蔵巻号：1-55(1990-2017)+）

年に一度ないしは二度発刊され、民法・商事法・民事手続法・国際私法の諸分野における各審級の新しい判例を対象として、学理や実務の立場から論評されている。

3 より深く学習したい方向けに

◆種々の法律雑誌

『シュトイエル』(未所蔵)、『ジュリスト』、『法曹時報』、『判例タイムズ』、『判例時報』、『法律のひろば』などの雑誌。

民法に関するものだけではないが、タイムリーな裁判例情報が記載されている。

研究者から実務家まで幅広く読まれており、法改正の動向なども知ることが出来る。

全ての雑誌、巻号がそろっているわけではないので、必要な論文の掲載巻号を確認し、未所蔵の雑誌論文の入手には、文献複写依頼などを利用してほしい。

(配架場所：1F・開架雑誌、1F・書庫(雑誌)(請求制))

◆各大学紀要

大学(短期大学を含む)などの教育機関や各種の研究所・博物館などが定期的に発行する学術雑誌。学会の発行する雑誌や、法律雑誌に記載されていない研究者の最新の論文が載っている可能性がある。

(配架場所：3F・大学紀要)

◆機関リポジトリ

上記の大学紀要や、種々の法律雑誌における論文等はネット上で全文公開されているものもある。CiNiiArticles や JAIRO から検索できる。

(大学図書館ウェブページよりリンクもあり。)

★本文中で紹介されている図書の探し方★

和歌山大学附属図書館トップページの OPAC 検索窓に、10桁の書誌 ID を入力して検索してください。

<http://www.lib.wakayama-u.ac.jp/>



和歌山大学図書館